

帝キネ時代映畫

原作並脚色者 松平昌之
監督者 長尾史録
撮影者 立花幹也

主要役割

駒木左門次	松本田三郎
唐澤進三郎	實川延松
佐和村五郎藏	東川長之助
同俣音松	中村梅太郎
駒木兄右源太	林誠太郎
殺される若旦那	清島緑之助
白萩お仙	千草香子
右源太妻お袖	津守玉枝
江戸居酒屋の女お妻	都さくら
解説——長尾史録氏の「村上喜劍」に次ぐ作品で、帝キネ入社第二回作品である。	
略筋——白萩お仙は佐和村五郎藏を殺害した旅の武士唐澤進三郎に見られ、夫の仇討である事を知り、兄を自分だと思ひ違へ、嫁いで来た人とした時、不圖とした事から、捕吏に追られてあるお仙を伴ひ、江戸へ落ちた。そして進三郎と知り、彼の首領なる由井正雪の殘黨の一隊に加つた。其頃江戸詰なつた兄右源太が、居酒屋の女お妻に溺れ、お袖を顧みない事知つた左門次は、兄の名譽心を呼び起させ様と、兄に一味の陰謀をあかした。お袖は右源太を諷めて自害した。始めて弟の心を知つた右源太は感涙にむせんだ。お仙は全身の愛を左門次に捧げつゝ、過去の罪を悔ひる折柄、進三郎一啖召捕りに向つた音松に發見され舌噛み切つて自害した。左門次も亦哀れ裏切者として痛切なる一味の刃に傷つき、兄の手に繩を受けてお仙の後を追ふのであつた。	

寫眞——「蟻地獄」帝キネ長尾史録作品。右より實川延松と松本田三郎。



郎と相知り、彼の首領なる由井正雪の殘黨の一隊に加つた。其頃江戸詰なつた兄右源太が、居酒屋の女お妻に溺れ、お袖を顧みない事知つた左門次は、兄の名譽心を呼び起させ様と、兄に一味の陰謀をあかした。お袖は右源太を諷めて自害した。始めて弟の心を知つた右源太は感涙にむせんだ。お仙は全身の愛を左門次に捧げつゝ、過去の罪を悔ひる折柄、進三郎一啖召捕りに向つた音松に發見され舌噛み切つて自害した。左門次も亦哀れ裏切者として痛切なる一味の刃に傷つき、兄の手に繩を受けてお仙の後を追ふのであつた。